

2022年3月3日
新人看護職員研修プログラム開発・評価部門

1. 看護部の理念を理解し、社会人・専門職業人としての責任ある行動がとれる
2. 看護技術を安全・安楽に提供できる
3. チーム医療における自らの役割を果たせる
4. 個性性のある看護が展開できる

I: できる
II: 指導のもとでできる
III: 演習でできる
IV: 知識としてわかる

背景がグレー:北海道大学病院独自の項目

	新人看護職員研修ガイドライン(以下ガイドライン)で1年以内に到達を目指すとされている項目
	北海道大学病院の使命を考えたときに1年以内に到達を目指す必要のある項目
	2年以内に到達を目指す必要のある項目

□は、研修が行われる時期

[illegible]

領域	到達目標	目標到達度	目標の詳細	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	12ヶ月		
				自己	他者	自己	他者	自己	他者	自己
術	④精神的安寧を保つための看護ケア(患者の嗜好や習慣を取り入れたケアを行うなど)	Ⅱ	患者個別の状況に合わせた、日常のケアの実施や対応により、安心が得られるよう援助を工夫し、継続して実践できる(患者の言葉に耳を傾ける 意図的なタッチ等)							
死亡時のケアに関する技術	①逝去時の援助	Ⅲ	剖検の有無を把握し、死後のケア、家族への対応ができる							
感染防止の技術	①△スタンダードプリコーション(標準予防策)の実施	Ⅰ	施設の感染防止基準を理解し、ルールに則った実施ができる。不明な場合は確認できる							
	②△感染経路別予防策の実施	Ⅱ								
	③△必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)を選択でき、正しく装着できる(手順も含む)	Ⅰ								
	④★無菌操作の実施	Ⅰ								
	⑤医療廃棄物の規定に沿った適切な取扱い	Ⅰ								
	⑥針刺し切創、粘膜ばく露等による職業感染防止対策と事故後の対応	Ⅰ								
	⑦洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	Ⅰ		部署で使用する器材の滅菌・消毒の区別ができる						
安全確保の技術	①誤薬防止の手順に沿った与薬	Ⅰ	施設の安全管理基準を理解し、ルールに則った実施ができる。不明な場合は確認できる							
	②患者誤認防止策の実施	Ⅰ								
	③転倒転落防止策の実施	Ⅰ		(1)転倒転落アセスメントシートを活用し、転倒転落防止策を考えることができる (2)看護計画に基づいて転倒・転落防止策を実施できる						
	④薬剤・放射線ばく露防止策の実施	Ⅱ		患者および自身のばく露防止の必要性を理解し、安全な防護策を実施できる						
情報管理	1)△施設内の医療情報に関する規定を理解する	Ⅰ	(1)パスワードは定期的に更新をする (2)実施時は必ず自分のIDで登録する(責任の所在を明確にする) (3)不要な診療上の情報を閲覧しない (4)閲覧や入力終了後は、必ずログアウトできる (5)情報は正確に入力できる							
	2)患者に対し適切な情報提供を行う	Ⅰ	(1)日々行う看護や検査・処置の説明ができる (2)患者の個性にあわせて、情報提供(治療の方向性、社会資源の活用、現在の状況の説明など)が行える							
	3)△プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	Ⅰ	(1)北大病院における個人情報保護について説明できる(個人情報A、個人情報B、個人情報C、個人情報管理区域、個人情報ガイドラインを読む) (2)医療情報や記録物を個人情報保護に則り扱える(記録物を院外に持ち出さない、個人情報を病棟の外で口外しない) (3)先輩に相談しながら、個人情報の守秘ができる(面会者の対応、看護研究時の対応など) (4)SNSには、仕事で知りえた個人情報等(患者・家族、病状、職員、病院のこと)を記載しない							
	4)△看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する	Ⅱ	(1)看護記録の意義と目的が分かる (2)看護実践の結果を看護記録規定に沿って記録できる							